

除菌済みキウイフルーツ花粉で生産した‘ハイワード’の果実品質

液体増量剤に除菌剤を加え、花粉のかいよう病菌を除菌

除菌処理方法



- ①容器に少量の受粉用液体増量剤を入れる。
 - ②花粉を入れダマがなくなるまで振り混ぜる。
 - ③残りの増量剤を加える。
 - ④全体が均一になじむように5分間振とう。
 - ⑤除菌剤(液剤)を一気に全部入れる。
 - ⑥続けてすぐに除菌剤(粉剤)を一気に全部入れる。
 - ⑦30秒間激しく振り混ぜて除菌完了。
- ➡除菌処理後30分以内に受粉を終える。

表1 除菌処理経過時間後の花粉発芽率 (単位:%)

試験区	0h	0.5h	1h	2h	3h
除菌区	67.9	60.9	59.7	55.8	51.9
無処理区	76.1	69.3	68.6	66.3	57.0

※センター産チーフタンを使用(花粉発芽率82.7%)

‘ハイワード’における受粉試験(2024年)

- 松山市粟井の現地ほ場にて試験を実施。
- 無処理区は液剤増量剤(花みらい)を利用し、花粉の希釈倍率は除菌区、無処理区ともに200倍。

表2 結実率、種子数、1果重および果実の大きさ

試験区	結実率 (%)	種子数 (個)	1果重 (g)	果実の大きさ(mm)		
				縦径	横長径	横短径
除菌区	94.4	960	105.2	64.0	54.6	49.6
無処理区	96.3	1188	113.3	65.6	56.7	49.5

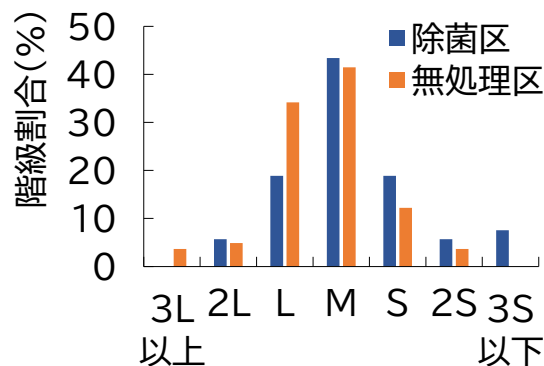


図1 階級割合
除菌区で小玉果が発生



図2 除菌区の収穫果
果形はほぼ問題なし

- 除菌処理により花粉発芽率が低下しやすくなるため、**除菌資材混和後30分以内**で使い切る。
- 受粉不良果(極小果)の発生が懸念**されるため、通常より**多めに花蕾を残す**。
- 種子数の減少や小玉傾向にあったため、**早期摘果**による初期肥大を促す。